

# ちょっとボランティア 実施報告書

令和3年9月1日

事業名 外国籍の子どもたちと地元日本人のミニ運動会

実施日 8月6日(金)10:00~12:00

場 所 小笠セントラルパーク

背 景 市民協働センターでは4月から約3か月間、浜松学院大学から山田ブライアン君を長期企業内留学生として受け入れた。ブライアン君は南米出身の両親を持ち日本で生まれ育った大学生。そのルーツを生かし、市内にある外国籍の子ども立ちを支援するNPOでインターン生として体験をするなかで将来も日本に住み続けたい子どもたちが多くいることを知り、国籍を超えた子どもたち同士の交流を築こうとミニ運動会を企画した。

目 的 外国籍の子どもたちと日本の子どもたちと交流することで、子どもの中からお互いを知り理解を深めることで、豊かな地域社会を協力しあって実現するためのきっかけづくりにする。

協力者 伊藤義広氏 磐田市オリンピックの聖火ランナー  
・おやじクラブ 水鉄砲合戦の道具一式提供  
・虹の架け橋教室 運営全般の協力

参加者 ・虹の架け橋教室・小学生15人(NPO法人静岡教育フォーラム)  
・ブラジル学校・小学生18人  
(NPO法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会)  
・日本人 小中学生21人  
(キクルデツクル・虹の架け橋教室の声掛けによる個人)

ボランティア 大学生、中学生、(中高生NPO体験セミナー参加者)  
ブラジル人学校の高校生、虹の架け橋教室の先生方

内 容 ① オリンピックの聖火ランナーのパフォーマンスとトーチリレー  
・聖火ランナーからのお話と全員参加のトーチリレー  
・伊藤さんへの質疑応答  
② しっぽ取りゲーム  
・ウォーミングアップのための鬼ごっこゲーム  
③ 水鉄砲合戦  
・4チームに分かれて2ゲーム実施  
④ 記念撮影

所感 インターシップの大学生がイベントの企画を考案。準備不足や外国人の子どもたちに言葉が通じないこともあって、運営がうまくいかないこともあった。

学生は反省を生かして来年度も取り組みたいという意思を表明したので、今後実施するようなら応援したい。またイベントを通し、多くの団体に協力いただけたことは、日頃の活動のつながりをいかせたと感じている。



配布会は9月にも中区東区で実施する。

アルコールを含む飲料や食料品のほか、塩や砂糖などは不可。

フードバンクは、家庭などの余剰食品を集め、寄付する活動。市内では市役所のほか32カ所、県内では計約250カ所にボックスを設置している。

外国人学校児童と地元子どもら交流

菊川で三運動会

菊川市市民協働センター

山岳事故防止へ

故が発生した場所もあや、新たに設置する(左)。

約50人が参加し、東京五輪にちなんだ横断歩道を火リレーや水鉄砲合戦を楽しんだ。水鉄砲合戦は伊藤一志君が務めた。伊藤君は南米出身で、写真撮影したり、水鉄砲を手に広場を駆け回ったりして触れ合った。

田中さん(右)は、同センターの活動を巡る中、地域社会との接点を求める児童が多いことを知り、国籍や言語の壁を越えたいと、同じく伊藤君と交流を築こうと案出した。

菊川市のおがせトラパルク

菊川市立小中学校との交流三運動会をおがせセンター活動で外国人児童と地元児童が交流した。

菊川市立小中学校との交流三運動会をおがせセンター活動で外国人児童と地元児童が交流した。

菊川市立小中学校との交流三運動会をおがせセンター活動で外国人児童と地元児童が交流した。